



平成 27 年 11 月 12 日

各 位

会社名 株式会社テグ・ウェスタン・セラピテクス研究所
代表者名 代表取締役社長 日高 有一
(コード番号: 4 5 7 6)
問合せ先 取締役総務管理部長 川上 哲也
TEL 0 5 2 - 2 1 8 - 8 7 8 5

ロート製薬株式会社との共同出資並びに日本革新創薬株式会社の 連結子会社化のお知らせ

当社は、平成 27 年 11 月 12 日開催の取締役会において、臨床開発事業を行うため、日本革新創薬株式会社（以下、「JIT 社」）に対しロート製薬株式会社（以下、「ロート製薬」）と共同で出資し、JIT 社を当社の連結子会社化することを決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。

当社は本件出資により臨床開発事業に本格的に参入し、眼科領域のパイプラインの拡充を進めてまいります。

1. 出資の理由

当社は、新薬開発の上流部分である基礎研究に特化しており、一定段階（現在のところ非臨床試験に到達する前の段階を基準としております。）に到達した開発品について、製薬会社へのライセンスアウトを実施しております。しかしながら、非臨床試験に到達する前段階の開発品をライセンスアウトすると、開発品の評価に時間を要するほか、その後の開発戦略もライセンスアウト先に大きく依存するリスクが存在します。

当社は、これらライセンスアウトに関するリスクの事業への影響の軽減を図るために、パイプラインの拡充と非臨床試験以降の開発を自社で行うことを視野に入れて、事業領域の拡大を進めることが重要と考えておりました。

それらを具現化するために、臨床開発を中心とする医薬品開発事業を行う能力を有する JIT 社の設立を以前よりサポートしてまいりました。

この度、ロート製薬と共同で JIT 社に出資することにより、当社は主に眼科領域での臨床開発事業へ進出することで、新薬候補品のさらなる価値向上に向けた取組みを一段と加速できるものと考えております。また、JIT 社は今後開発候補品の導入を進める予定であり、それにより当社のパイプライン拡充に寄与するものと判断し、子会社化することといたしました。

2. 共同出資の内容

ロート製薬との共同出資の内容は以下の通りです。

- ① 臨床開発事業を行う JIT 社への共同出資（当社が 50% 超出資の連結子会社化）
- ② JIT 社を通じた眼科医薬品臨床開発事業での協業

JIT 社の事業概要は以下の通りです。

- ① 眼科領域を中心とする開発候補品の開発推進
- ② 国内外のアカデミア・バイオベンチャー等の新薬候補シーズの事業化コンサルティング
- ③ 国内外のアカデミア・バイオベンチャー等の新薬候補シーズの非臨床試験、臨床試験等の受託

JIT 社は、眼科、中枢神経系や免疫系領域での新薬開発や事業開発に多くの経験とノウハウを持つメンバーが揃った会社であり、新薬の独力での臨床開発が可能です。また、複数の開発候補品の導入に取り組む計画があり、JIT 社がこれらの開発品を得ることで当社はグループとしてパイプラインの拡充を図って参ります。

JIT 社は、今後、幅広く国内の大学やバイオベンチャーの新薬シーズを導入し、あるいは共同開発を行うことを予定しており、当社のスローガンである「日本発の画期的な新薬を世界へ」の実現に一層貢献するものと考えております。

3. 出資による効果

本契約による当社の事業効果は以下の通りです。

- ① 当社グループとして臨床開発が可能となり、自社開発品の付加価値増強が図れる
- ② アカデミア、バイオベンチャー等からの開発品の導入により、当社グループとしてのパイプラインの拡充が図られる

本件は将来にわたる収益性の向上に寄与するものと当社は判断しております。

4. 共同出資の相手先（ロート製薬）の概要

(1)	名 称	ロート製薬株式会社
(2)	所 在 地	大阪府大阪市生野区巽西 1 丁目 8 番 1 号
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 吉野 俊昭
(4)	事 業 内 容	医薬品・化粧品・機能性食品等の製造販売
(5)	資 本 金	6,411 百万円
(6)	設 立 年 月 日	1949 年 9 月 15 日
(7)	上場会社と当該会社との間の関係	資本関係・人的関係・取引関係・関連当事者への該当状況は、いずれも該当ありません。

5. 異動する子会社（JIT 社）の概要

JIT 社は、国立大学法人東京農工大学より「東京農工大発ベンチャー」として認定されており、同大学の未熟児網膜症^(注1)を対象とするシーズの実施権許諾を受けております。

(1)	名 称	日本革新創薬株式会社	
(2)	所 在 地	愛知県名古屋市千種区千種 2-22-8	
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 岩崎順一郎	
(4)	事 業 内 容	医薬品、診断薬、再生医療等製品の研究、開発、製造及び販売	
(5)	資 本 金	480 万円	
(6)	設 立 年 月 日	平成 26 年 12 月 22 日	
(7)	上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
		人的関係	該当事項はありません。

	取引関係	当社と当該会社の間には、技術支援等の取引関係があります。				
(8) 当該会社の経営成績及び財政状態						
平成27年6月期	純資産	総資産	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	2百万円	8百万円	—	△2百万円	△2百万円	△2百万円
	1株当たり純資産		1株当たり当期純利益		1株当たり配当金	
	4,168.55円		△5,831.45円		—	

(注) 設立が平成26年12月のため、平成27年6月期は約半年分の実績となります。

6. 第三者割当増資引受の方法

JIT社が実施する第三者割当増資により発行する株式の60%に相当する30,000株を当社が引き受け、当社の連結子会社といたします。残り40%に相当する20,000株については、ロート製薬が引き受けます。

7. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数:0個) (議決権所有割合:0%)
(2) 取得株式数	30,000株 (議決権の数:30,000個)
(3) 取得価額	300百万円
(4) 異動後の所有株式数	30,000株 (議決権の数:30,000個) (議決権所有割合:59.43%)

8. 日程

(1) 取締役会決議日	平成27年11月12日
(2) 契約締結日	平成27年11月12日
(3) 払込日	平成27年11月20日(予定)

9. 今後の見通し

本件による平成27年12月期の業績に与える影響は現在精査中であり、今後、業績予想修正の必要性及び公表すべき事項が生じた際には、速やかにお知らせいたします。

以上

用語解説

(注1) 未熟児網膜症

低出生体重児(未熟児)は、出生後保育器で高酸素下の環境におかれますが、その後通常環境に戻された際、その環境に適応するため、急激に血管を産生しようと努めます。それは網膜においても起こり、急激な血管産生の結果、脆い異常な血管が形成されることで網膜剥離につながり、最終的には失明に至ることがある疾患です。現在は、レーザー照射による治療が行われていますが、必ずしも視力が戻るわけではなく、満足されている治療というわけではありません。